

令和6年5月2日

各位

公益財団法人岡山県産業振興財団
ものづくり支援部研究開発支援課
(担当:竹内・小林)

「エコプロ 2024」岡山県ブース出展者募集のご案内

本年12月に東京ビッグサイトで開催される「SDGs Week EXPO」は、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）＊の推進をテーマとし、持続可能な社会に向けた様々な社会課題解決の起点となり、多様なステークホルダーとの交流と対話を推進する展示会として、環境総合展の「エコプロ」を中心に5つの展示会が同時開催されます。

このたび岡山県は、県内企業等が開発した先進的な環境関連技術・製品をPRするとともに、広域的な販路展開を支援するため、「エコプロ 2024」に出展します。

つきましては、次のとおり岡山県ブースの出展者を募集しますので、幅広い業種のビジネスパーソンとの商談・取引やネットワーク構築等にぜひご活用ください。

＊SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）：

企業・団体が経営や事業の根本を「サステナビリティ（持続可能性）」へ転換すること

記

- 1 出展事業 SDGs Week EXPO 2024 / エコプロ 2024 [第26回]
- 2 会 期 令和6年12月4日（水）～6日（金）10時～17時
- 3 会 場 東京ビッグサイト 東ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 4 入 場 料 無料（登録制）
- 5 主 催 日本経済新聞社、一般社団法人サステナブル経営推進機構（エコプロ）、日経BP（カーボンニュートラルテック / 自然災害対策展 / 社会インフラテック）、インフラメンテナンス国民会議（社会インフラテック）
- 6 同時開催 カーボンニュートラルテック [第4回]、自然災害対策展 [第6回]、社会インフラテック [第7回インフラ維持管理・老朽化対策総合展]
- 7 出展規模 540社・団体 / 1,160小間（SDGs Week EXPO 全体、見込み）
- 8 来場者数 68,000人（SDGs EXPO Week 全体、見込み）

- 9 来場対象 社会課題解決に携わるビジネスパーソン
- 企業 ●自治体・官公庁 ●各業界団体、地域産業・商工団体
 - 学術機関、国際機関、研究開発機関、専門家
 - イノベーター、オピニオンリーダー、インフルエンサー
 - VIP（国会議員、行政トップ、企業の経営者層、在日大使館など）
- 社会課題に取り組んでいる／これから取り組む生活者
- 一般生活者、若年層、アクティブシニア ●NPO・NGO、市民団体
 - 学校・教育関係者、学生、児童・生徒
- 1 0 開催概要 下記「エコプロ 2024」公式サイトを参照してください
- <https://messe.nikkei.co.jp/ep/>
- 1 1 募集対象 自社が開発した環境負荷低減に繋がる先進的な技術・製品等の販路拡大、及び環境ビジネスの市場開拓を目指す、岡山県内に事業所を有する企業等 8社
- 1 2 出展小間 1小間：W1980mm×D3000mm×H2700mm（予定）
- 【お断り】・出展者数により提示サイズを変更する場合があります。
- ・感染症対策の観点からブース内に通路を設けます。
- 《基本設備》（予定）
- ・受付カウンター（中棚付） ・パンチカーペット ・社名板 ・パネル設置用造作
 - ・LEDアームスポットライト2灯 ・2口コンセント（1kW）1個 ・一次配線工事
 - ・会期中の電気供給量1kW以内
- 《共用スペース》（予定）
- ・ストックルーム
 - ・ミニセミナー&ワークショップ&商談スペース（大型ディスプレイ設置）
- 1 3 出展負担金 330,000円（税込）
- 出展小間料及び小間基本装飾に係る経費の一部を補助します。
- 《出展負担金内訳》出展小間料 396,000円×1/2+小間装飾費 264,000円×1/2
- 【注1】出展小間料は5月31日までに申し込みを完了した場合に適用される早期割引額です。（通常申込：1小間あたり444,000円税込）
- 【注2】基本装飾以外の追加工事費及びオプション備品等、上記以外で別途申し込まれた費用は補助対象外です。会期後、装飾業者に直接お支払いください。
- 【注3】出展決定後（6月上旬）に出展負担金を請求させていただきますので、払込期限（7月31日）までに指定口座へ入金してください。
- 【注4】出展申し込み受理後のキャンセルはできません。出展者のやむを得ない事由により出展を取り消す場合は、原則として小間装飾負担金のみ返金します。
- 1 4 申込方法 出展申込書に必要事項を記入の上、会社案内、出展品等のカタログ及び資料を添えて期限内に事務局宛てメールにてお申し込みください。（PDF可）
- ※出展者募集要項、及び出展申込書はB-netホームページからダウンロードしてください。ダウンロードはこちら→ <https://bnet-okayama.jp/information/125>

- 1 5 申込期限 令和6年5月24日（金）17時まで
※募集定数に達した場合は申込期限前であっても受付を終了します。
- 1 6 岡山県ブース出展者説明会
◆日時 令和6年10月4日（金）13:30～15:00 ※予定
◆会場 テクノサポート岡山 交流サロン（岡山市北区芳賀 5301）
※会場に常駐する出展責任者、及び出展手続きに係る事務担当者をご出席ください。
- 1 7 特記事項
- ①本事業は岡山県産業廃棄物処理税を活用して実施するため、申込者が定数を超えた場合、「未利用資源の有効活用に繋がる技術、製品等」に関連する分野の出展者を優先します。
 - ②今回の出展において自社が開発した新技術・新製品を初公開する場合、もしくは令和5年度、令和6年度にプレスリリースした技術・製品を出展する企業を優先的に採択します。
 - ③出展に係る各種手続き（出展申込等）、及び展示装飾業者の選定・交渉は事務局が行います。
 - ④各出展者の小間位置は、形状・出展内容などを考慮し事務局が決定します。
 - ⑤会期中、出展小間に説明スタッフを2名以上配置してください。配置が不可能な場合は出展をお断りいたします。
 - ⑥会期終了後に出展成果（来場者数、商談件数等）に関する調査を実施しますのでご協力をお願いいたします。
 - ⑦感染症の拡大等、不可抗力により主催者が開催中止を判断した場合、出展負担金を返金します。
- 1 8 事務局（お申し込み・お問い合わせ先）
公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部研究開発支援課
担当：竹内 聖子（環境産業支援コーディネータ）、小林 靖博（環境産業推進員）
TEL 086-286-9652（内線 3033） FAX 086-286-9676 E-mail : stake@optic.or.jp
URL <https://bnet-okayama.jp/>

【参考資料】エコプロ 2023 岡山県ブース出展概況

■出展者 13社・機関／10小間

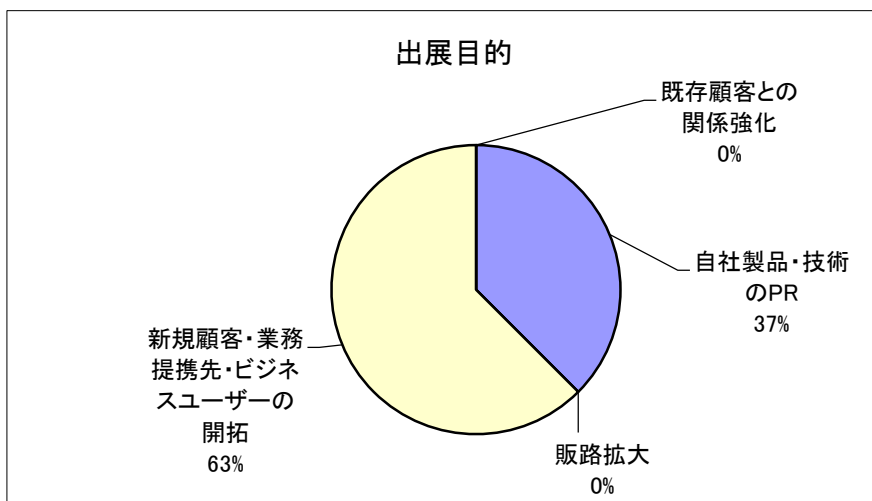
■来場者数 2,605人



ミニセミナー

ワークショップ

■出展者アンケートより



- ♪想像以上の反響で、大手企業からの引き合いに驚いている。
- ♪重点対象先と取引のきっかけができた点は非常に良かった。
- ♪環境意識の高いユーザーへのPR、啓蒙に一役買うことができた。
- ♪（事務局に対し）準備段階から会期後まで手厚いフォローをしてもらい感謝している。

※ワークショップ・ミニセミナー実施企業 VOICE

- ♪ワークショップを通じて首都圏の学生に自社が取り組む木育活動を行うことができた。
- ♪事前に見せ方や実施内容を練って臨む必要があると実感した。

SDGs Week EXPO「エコプロ2024」 参考情報



エコプロ 【第26回】

- 地球環境問題をはじめ社会課題解決を促進する
ビジネスマッチング**
- 特長 **1** 多角的な視点でSXを推進する先進的な技術・製品・サービスが集結
本展にはSDGsや環境問題に取り組む、川上から川下まで業種を横断したビジネスパーソン、技術者・研究者、NPOや教育機関など多様な方々が来場します。多角的な視点でSXを捉え、社会課題解決を図るための先進的なテクノロジーや製品、ソリューションをご提案いただき、多くのプレイヤーとの交流と共創を実現する場としてご活用ください。
- 消費者やサプライヤー、従業員とのエンゲージメントを構築**
- 特長 **2** “プロダクツ”のストーリーが共感を生み出す
展示会というライブメディアには理念や活動、提案に対する反応をダイレクトに感じられる利点があります。パーパスやミッションを消費者やサプライヤー、従業員といったステークホルダーに伝える、さらには何故この“エコプロダクツ”を社会に届けるのか、事業のストーリーを語り深い理解と共感を得る貴重な機会を提供します。
- 次世代育成の場として、そして若年層に向けたブランディングにも**
- 特長 **3** 本展は一步先行く環境対応へ
今年で第26回となる本展は、当初から小中高生を招いた環境学習の場を提供してきました。今回も約1万人の児童・生徒を招き、持続可能な社会の実現を担う次世代の育成を支援します。Z世代やα世代と称される若年層への情報発信の場としてぜひご活用ください。また、本展は展示会場のゼロエミッション化に向けた環境対応にも独自の取り組みを進めています。

